

政治学概論Ⅱ《2024》

イントロダクション

荻谷 千尋

4, Dec, 2024

I. 自己紹介

1. 自己紹介

- 氏名：荻谷千尋（かりやちひろ）
- 出身：岐阜県
- 所属：金沢大学
 - 高大接続コア・センター
- 専門：政治学
 - 政治思想史（イギリス）
 - personal website - en
 - researchmap - ja

2. 研究テーマ

- 18世紀後期ブリテン思想
- エドマンド・バーク（庶民院議員）を中心に
 - 18世紀後期ブリテンにおけるキケロ、タキトゥスの受容
 - 議会におけるレトリック
 - フランス革命期ブリテンにおける国際法解釈
 - 国家・帝国・植民地

ポイント

- 市民革命論（神話）の見直し
 - 後世ではなく、18世紀の評価基準による歴史の再構築

3. 校務（高大接続）

(1) リーディングセミナー

- 高校生向けに書かれた新書らを読みあう
 - 最近の高校生は本を読まない？
 - 高校生向けの良書の出版
 - セミナーの模様

(2) ボードゲームで学ぶ社会の平等と不平等

- フランスで作られた、社会格差を知るためのモノポリー

(3) 高大接続ラウンドテーブル

- 探究学習を題材に、高校生と大学生が交流

II. シラバス

Note

シラバス（リンク）を参照

III. レポート課題

Note

レポート課題（リンク）を参照

IV. 受講生

Note

スライド資料参照（リンク）を参照

V. 国際政治学

1. 3つの研究領域

1. 国家間関係

- 外交：日米関係、日韓関係、G7など

2. 他国の国内政治（エリアスタディ）

- アメリカ大統領選挙
 - アメリカのような大国の国内政治は無視できない

3. グローバルイシュー

- 環境問題

2.1と2の特徴

- 強制力のある単一主権の欠如
- 複雑な利害関係
 - 責任者と問題の当事者
- 代表と世論という政治システムの欠如

VI. 日本ってどんな国

1. 出羽守と愛国者さま

(1) 「出羽守」と「尾張守」論法

- 「海外では（出羽）」「日本はもう終わり（尾張）だ」
- 海外の評価基準の受け売り（海外の美化）（河野有理（2020））
- 日本に対する低い評価

(2) 「SNSの愛国者さま」

- 政権（特に安倍政権）の絶対的擁護
- 自国の美談大好き（ゴミ拾う「美しい日本人」）
- 排外主義
- 陰謀論

ポイント

- どちらも比較軸、客観視に問題あり

2. 研究者の視点とデータの可視化

(1) アカデミズムを頼る

- 本田由紀『「日本」ってどんな国？：国際比較データで社会が見えてくる』（ちくまプリマー新書、2021年）

- 比較政治学という研究アプローチ
 - 比較制度論

(2) データを可視化する

- 人の作った図に頼らない（教科書や政府も含めて！）
 - 信頼できるデータの探索＋可視化（R - ggplot）
 - 国民負担率

a) 世界価値観調査

Note

スライド資料参照（リンク）を参照

- 回答者（日本）の世帯収入
- 人生は自分の思い通りになるか（主要6カ国：世帯収入・世帯収入別集計）
- 競争か平等か（主要6カ国：世帯収入・世帯収入別集計）
- 小さな政府志向（収入再分配機能の否定）
- 大きな政府志向（所得再分配機能の肯定）
- 政府の所得再分配機能：主要6カ国比較：世帯収入別集計
 - Q. 政府が富裕層に課税し、貧困層に補助金を支給することは
 - 1. 民主主義の本質的な特徴ではない
 - 1. 民主主義の本質的な特徴である
- 政治に関心あり
- 政治について話す機会（主要6カ国比較・世帯収入別集計）

b) 国民負担率

Note

スライド資料参照（リンク）を参照

- 租税負担率
 - Source: OECD: Global Revenue Statistics Database
- 社会保障負担率
 - Source: OECD: Global Revenue Statistics Database
- 国民負担率（租税負担率＋社会保障負担率）

参考文献

河野有理（2020）「「不思議の勝ち」を抱きしめて」．『Voice』，No.6月，pp.86-93.